



独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース

第51号

2017年6月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さんの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」を目指します。

【基本方針】

- 一 国が担うべき政策医療である結核、重症心身障害、神経難病の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 二 呼吸器疾患、神経系疾患、胸部・血管外科の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 三 開放型・地域医療支援病院として地域医療の質の向上および地域連携の充実に貢献します。
- 四 臨床研究・臨床試験に積極的に取り組み、医療の質の向上に貢献します。

【患者の権利と義務】

◇患者さんの権利

1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
3. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 治療法を選択できる権利があります。
5. 病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
6. 個人情報を守られる権利があります。
7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者さんの義務

1. ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
2. 検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
3. 他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
4. 医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



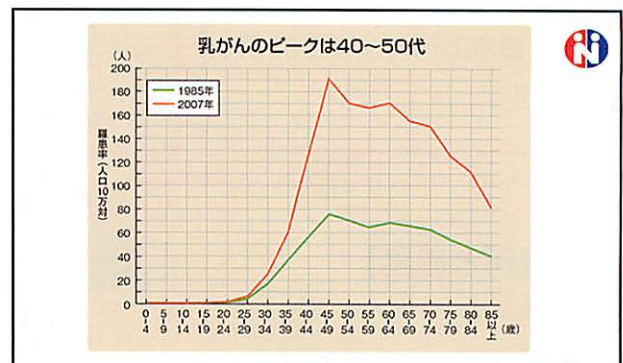
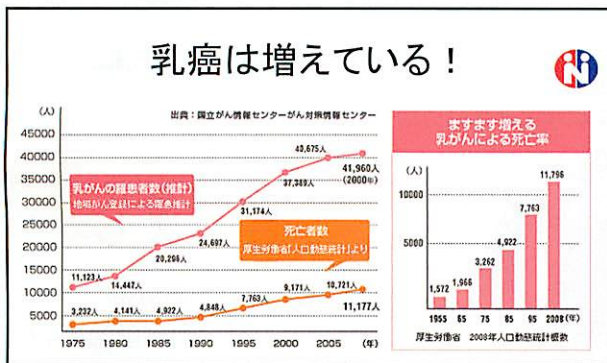
目次

2. 診療科の紹介 乳腺外来
外科医師 中村理恵
3. がん性疼痛の緩和について
がん性疼痛看護認定看護師 加納昌明
3. 「健康フェアを開催しました」
経営企画室長 奥地 博
4. 医の門 vol.37
COPD患者における身体活動性の重要性と当院の取り組み
和歌山病院 院長 南方良章
5. 国立病院機構通信 PRESS 紹介
6. 外来診療担当表・職員募集案内

毎週火曜日 午前の乳腺・乳がん検診外来担当の中村理恵です。今日は乳がん検診の紹介をさせていただきます。近年、北斗晶さんや小林麻央さん、南果歩さん等の芸能人の方々が自身の乳癌発症を発表されたこともあり、全国的に乳癌検診を受けられる方が増えているようです。その一方で多忙であったり、『痛いんじゃないの?』といった不安、『乳癌の家系じゃないから大丈夫!』や、まだまだ若い70代、80代の女性が、『まさかこの歳になって乳がんはならないだろう。』という思い込みで、検診を受けていない方もかなりいらっしゃると思います。でも私が診察させていただいた乳癌患者さんの中には、ご自分でしこりをみつけて受診された元気な90歳の女性に早期の乳癌が見つかったこともありますし、そもそも乳癌家族歴のない方がほとんどです。実は私も昨年初めてマンモグラフィ検診を受けました。確かに圧迫痛はありますが1回の撮影につき20秒程度ですし(標準左右で4回撮影します)、あっという間に終わりました。また和歌山病院での乳がん検診は女性技師さんと我々乳腺専門の女医が担当していますので安心して検査を受けてもらえると思います。乳がん検診といっても、

受けることのできる検査内容は施設によって異なり、触診のみを行う施設から、マンモグラフィ、超音波検査を即日行える施設まで様々です。

いわゆる集団検診などで行われているバスでのマンモグラフィは一度にたくさんの方々のマンモグラフィを撮影できるのですが、結果が届くのに一定の時間が必要です。このため検診を受けたあとしばらく不安な気持ちで過ごしたり、自分のマンモグラフィをみたことがない方もいらっしゃると思います。和歌山病院では撮影したマンモグラフィを即時確認し、患者さん本人にもみてもらいながら説明させていただいています。また乳腺濃度が高くマンモグラフィでは評価が不十分な方や気になる所見がある方にはその場で超音波検査・必要であれば精密検査(組織検査や細胞検査)も行うことができるため、疑問や気になることがあったら何でも聞いてください。また、和歌山病院では最新のマンモグラフィ、3Dマンモグラフィシステムを導入しています。特に高濃度乳腺の方の癌の検出率が高く、若い方の検診に有効と思われます。是非この機会に検診を受けてみてください。



乳がん検診の3つのルート

- ・ **住民検診**
→40歳以上
2年に1回 マンモグラフィ+視触診
- ・ **職域検診**(本人や配偶者の勤務先企業の健康保険組合による)
- ・ **人間ドックなどの個人的に受ける検診**

住民検診

対象年齢	検診内容
40~49歳	マンモグラフィ(2方向)+視触診
50歳以上	マンモグラフィ(1方向)+視触診

- ・ マンモグラフィは『日本医学放射線学会の仕様基準を満たした乳房エックス線装置』を用いて撮影。
- ・ 装置は『乳癌検診精度管理中央委機構のマンモグラフィ検診施設画像認定』を取得していること
- ・ 撮影は『マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の講習会を受講した技師・医師』が行うこと。
- ・ マンモグラフィ読影は読影資格を有する医師が2人で行う。

がん性疼痛の緩和について

がん性疼痛看護認定看護師 加納 昌明

「緩和ケア」という言葉を耳にしたことがある方も多いと思いますが、具体的に緩和ケアとはどのようなものか御存知でしょうか？「緩和ケア」は緩和医療学の実践であり、臨床薬理学や病態生理学とEBM（根拠に基づく医療）に則った計画的な治療方針と、的確な効果を目指した学問をもとに行われるケアをいいます。WHO（世界保健機関）では緩和ケアを「生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな（霊的な・魂の）問題に関してきちんとした評価をおこない、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、QOL（生活の質、生命の質）を改善するためのアプローチである」と定義しています。和歌山病院においても、平成18年より緩和ケアチームを立ち上げ、がん患者さんを中心に身体・精神・社会的・スピリチュアルな苦痛などに対して援助を行っています。一般的にがんの痛みは、がんの

進行に伴って強くなっていく特徴があります。痛みを放置すれば耐え難い痛みに達する可能性があるため、痛みが弱い初期の段階から、対処する事が痛みのコントロールの基本となります。また、モルヒネをはじめとするオピオイド鎮痛薬（医療用麻薬）を使用することで、痛みに効果を発揮します。一般的にはオピオイド鎮痛薬は、誤解や偏見がありますが、がんの痛み治療に対し適正に使われる場合、中毒になったり精神状態に悪影響を与えることはほとんどありません。痛みを取り除く事で普通に生活でき、がん治療に取り組む事が可能になります。私たち医療従事者は、痛みのある患者さんの小さなサインを見逃さず、早期に対応することが使命と考えています。

当院では、肺癌や乳癌をはじめ、癌の種類を問わず、様々な痛みに対して入院・外来通院中の患者さんに対しても、調整を行い可能な限り対応をしています。

健康フェアを開催して

経営企画室長 奥地 博



平成29年5月10日(水) オークワロマンシティ御坊店において、健康フェアを開催致しました。毎年2回開催しており、今回は1回目となります。

午前10時前から健康フェアの開催を待ちわびる来店者が20名ほど行列を作り、南方院長からの挨拶もそこそこに始めました。

今回は、ドローンによる新病棟を含めた病院全体の様子を動画にし紹介させていただき、店内の来店者あて検診の案内やウェットティッシュを配り健康フェアのお知らせを行うと併に相談

コーナーでは物忘れ相談コーナーも新たに追加して行いました。身体測定(身長・体重・血圧・体脂肪・酸素飽和度・血管年齢・骨密度・肺年齢)や相談コーナー(栄養・薬剤・禁煙・乳がんチェック・医療)を開設し、盛り上がりのなか171名の方に来場していただきました。

今後も皆様に喜ばれるよう新企画を考えていくことや、新たなお知らせの方法を考えて、更に多くの方々に来場していただけるよう努めてまいります。



COPD 患者における身体活動性の重要性と当院の取り組み

和歌山病院 院長 南方良章

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) は、主に喫煙により肺内に慢性炎症が生じ、生理的には進行性の気流閉塞を伴う疾患である。この気流閉塞は労作時呼吸困難を生じ、その結果、運動耐容能の低下、身体活動性の低下をもたらし、骨格筋廃用を導き、さらなる労作時呼吸困難をきたすという悪循環をもたらす、予後の悪化につながる。この悪循環を断つためには、身体活動性を向上・維持させることが一つの治療戦略と考えられる。

COPD患者においては、身体活動性の低い患者では予後が有意に悪く、またCOPD死亡の最大の危険因子が身体活動性であることが報告され、COPDにおける身体活動性は近年極めて注目されている。身体活動性の評価には、3軸加速度計が最も優れた測定方法と考えられるが、測定したデータの再現性を確保する必要がある。我々は、再現性の検討を行い、雨天・休日を除いた3日間のデータ分析が再現性の高い指標を抽出できることを見出している(Sugino A. Respiration 2012)。

COPD患者では健常者に比べ、あらゆる強度で身体活動時間は短縮している(Minakata Y. Respir Invest 2014) (図1)。また、1日の総歩数や歩行時間も有意な低下を認めるが、歩行速度では差がみられない(Sakamoto Y. Rehabil Nurs 2016)。この歩行様式は、筋肉量の低下と歩行速度の低下あるいは筋力の低下で定義されるサルコペニアの歩行様式とは一部合致しない可能性も示唆される。

一方、経年的に身体活動性を維持できた患者では低下患者に比べ、明らかに予後が良好であることが報告されてはいるが、気管支拡張薬単

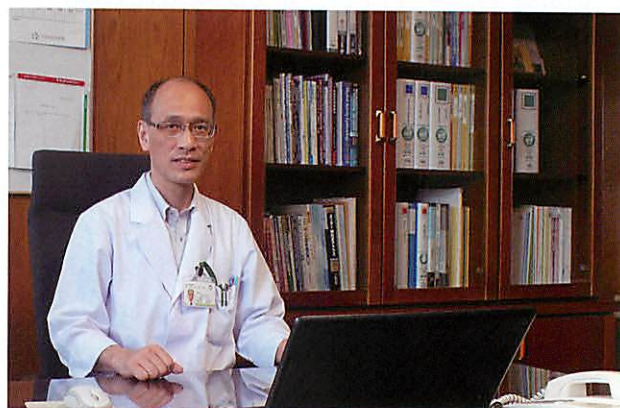


図1 COPD患者の身体活動性低下率

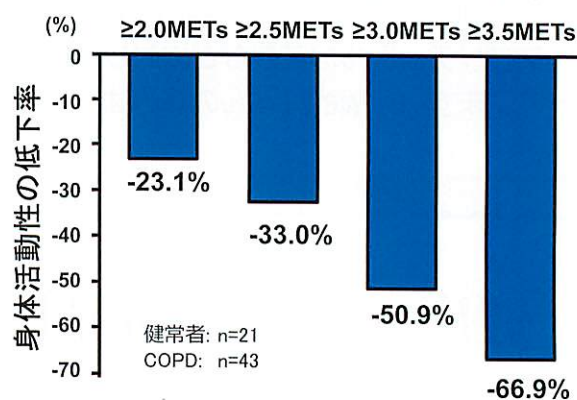
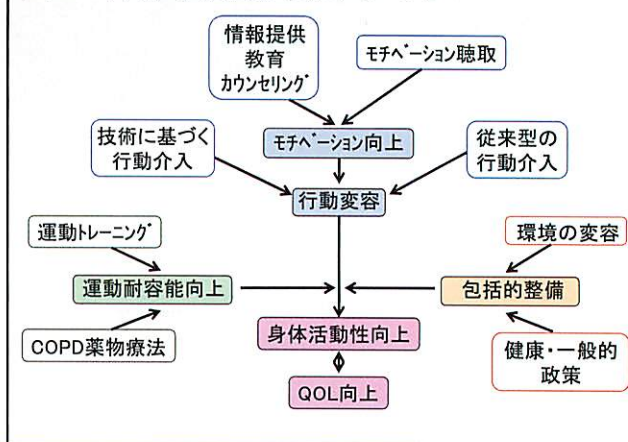


図2 身体活動性改善のモデル



剤投与や呼吸リハビリテーションの身体活動性に対する効果は様々で、結論には至っていない。

我々は、重症度と自覚症状に基づき気管支拡張薬を追加投与し、4週間後に比較的高強度の活動時間が有意に改善することを確認している (Minakata Y. Int J COPD 2015)。薬物療法や呼吸リハビリテーション以外に、モチベーション向上も重要な因子であることが指摘されており (Aguilaniu B. npj Primary Care Respir Med 2014) (図2)、我々は、フライングディスク競技の導入を試み、参加者の前向きな反応結果を得ている (Honda Y. Clin Res Pulmonol 2014)。

現在当院において、気管支拡張薬の効果に関する二重盲検試験の治験や、日本人COPDの身

体活動性標準式の作成を目指した多施設共同研究も進行中である。今後、COPDの身体活動性に関する更なるエビデンスの発信を目指したい。



NHO PRESS (国立病院機構通信) 第3号発行しました

http://www.hosp.go.jp/nho_press.html



「NHO PRESS」で検索

NHO PRESS

検索

QRコード





		月	火	水	木	金
外 科	担当医 (予約のみ)	岩橋 正尋	宮坂 美和子 (乳腺外来)	岩橋 正尋	有本 潤司	
	—	中村 理恵 (乳腺外来)	—	—	—	
呼吸器センター	初診	柳本 立太	南方 良章	東 祐一郎	小野 英也	川邊 和美
		東 祐一郎	村上 裕亮	村上 恵理子	—	奥田 有香
	再診	駿田 直俊	小野 英也	柳本 立太	赤松 啓一郎	—
	専門外来 (午後)	—	—	睡眠外来 駿田(再診)	禁煙外来 赤松 啓一郎 (第2・4・5週)	睡眠外来 駿田(初診)
—		—	COPD外来 担当医	—	—	
内 科	楠山 良雄 (予約再診のみ)	—	楠山 良雄 (予約再診のみ)	—	—	
	駿田 直俊	南方 良章	—	—	川邊 和美	
神経内科	午前	細川 万生	物忘れ外来 河本 修 (第2・4週予約のみ)	河本 純子 (第2・4週)	—	河本 純子
				竹村 学 (初診) 診察日は*を参照	竹村 学 (初診) 診察日は*を参照	
	午後		—	竹村 学 (再診のみ) 診察日は*を参照	竹村 学 (再診のみ) 診察日は*を参照	—

○受付時間 午前8:30～11:30

○再診については原則、予約制にしております。
(急患についてはこの限りではありません)

*注意：神経内科 竹村医師の診察予定日

2017年
6月21日、22日 10月18日、19日
7月19日、20日 11月15日、16日
8月16日、17日 12月20日、21日
9月20日、21日

看護師募集中！(①常勤・②非常勤)

- 募集人数：①②ともに若干名
- 必要資格：①②ともに看護師免許
- 勤務時間：①1日7時間45分の交替制勤務(夜勤有)
②応相談(1週最大32時間まで)
- 休日：①4週8休制度②勤務内容により応相談
- 勤務内容：①病棟看護業務
②夜勤専従、病棟・外来日勤等応相談
- 給与：①基本給：194,200円～
(短大3卒の場合)※各種手当有
②時給：1,450円※交通費別途支給

問い合わせ先は管理課まで



院内宿舎・保育所あります！

独立行政法人国立病院機構 **和歌山病院**

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

広報委員会

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256 (代表)

※夜間・休日は 0738-23-1506

FAX 0738-22-2008 (地域医療連携室)

<http://wakayama-hosp.jp/>